

(2018-2019 年度)

## 第 1 回複合地区会則委員長連絡会議要録

◎日 時： 2018年9月13日(木) 14:00-16:10

◎場 所： 一般社団法人日本ライオンズ(東京・八重洲)

◎出席者： 各複合地区委員長

330複合地区会則委員長	秋 山 詔 樹
331複合地区会則委員長	山 口 富 雄 (副世話人)
332複合地区会則委員長	佐 藤 義 則 (世話人)
333複合地区会則委員長	松 本 元 良
334複合地区会則委員長	増 田 悌 造
335複合地区会則委員長	三 宮 秀 介 (副世話人)
336複合地区会則委員長	尾 崎 博
337複合地区会則委員長	麻 生 好 彦

オブザーバー出席者

国際理事会LCIFアポインティ・LCIF理事会開発委員長、  
LCIFキャンペーン100国際委員長、元国際会長 山 田 實 紘

第 1 回会則委員長連絡会議招集者

議長連絡会議世話人 識 名 安 信

- ・ 14:00、第1回会議招集者の識名議長連絡会議世話人より開会。
- ・ 識名議長会世話人から山田元国際会長が紹介された後、各出席者から自己紹介あり。MD331山口委員長からは、先般の北海道胆振東部地震被害支援への謝意とLCIF災害交付金について報告あり。
- ・ 識名議長会世話人から、本日の会議要録作成人としてMD333松本委員長及びMD337麻生委員長の両名が指名された。また、スケジュールの都合により、案件を繰り上げて最初に山田元国際会長の講演をお願いし、次に会則会議世話人の互選を行うとの提案あり。了承。

◎議 事:

### 1. 山田元国際会長の講演

山田 PIP の講演

2018.8.20 第1回定時社員総会第 5 号議案 (一般社団法人)日本ライオンズ組織図の決定に基づく講演がされた。

山田 PIP が 225 都市を周り日本が文明開化してない現状を話された。他の国はアメリカの手法をそのまま運用しているが日本は独特の運営になっている。例を挙げると他の国は国際会長のスローガンだけであるが日本は複合、準地区、クラブごとにある。例会はもっとフランクにやっているが日本はフォーラムのときの次第をクラブ例会に持ち込んでいる。ライオンズ必携も日本だけのもので世界は法律文書だけである。このような部分をグローバルスタンダードに進化させていくことが重要である。なぜなら日本は全世界から注目されている。理由として現在会則地域の再編が検討されている。OSEAL が TOP の会員数になり、最大会員数の日本がリードしていくようになる。LCIF の貢献が世界で TOP である。以上のことからスピード持って進化できる組織形態が重要である。

## 組織図の説明

### ◎社員総会(全国ガバナー会)

国際協会本部の役員であるガバナーの要請しか受け付けないので年 4 回開催しこれを組織の TOP に据える。

### ◎理事会

8 複合議長連絡会議に代わるもので対応の遅い連絡会議は発展的解消。国際理事の理事会報告を受け国際協会本部の変革にスピードを持って対応できるようにしていく。ただし 8 複合地区は従来通り運営していく。

### ◎委員会

各委員会委員長は複合地区前、現協議会議長が務め各委員会委員は現職ガバナーで分担する。これまでは元ガバナーで委員会を開催していたがその委員会だけで審議されガバナーや協議会議長に伝わっていなかった情報の一元化を図る。

## 2. 連絡会議世話人、副世話人の互選

複合地区連絡会議規定第4条により、世話人にはMD332 佐藤委員長が互選された。副世話人には、MD335三宮委員長とMD331山口委員長の2名が互選された。

## 3. 前年度からの申し送り事項及びMD332佐藤会則委員長の提案書

前掲議案1により、前年度申し送り事項及び提案書は取り下げとする。了承。

## 4. 2018年会則及び付則の改正

(1) 2018年7月ラスベガス国際大会の代議員投票により、国際付則改正案の4項目すべて可決された。

①国際付則第10条第2項(a)―「単一地区又は複合」を「単一地区又は準」に

②国際付則第4条第1項―長期計画委員会の構成「7」を「**8**」に

③国際付則第2条第5項 8(b)―「理事会構成員」を「国際理事」に

④国際付則第4条第1項―国際理事会の常設委員会に (k) テクノロジー 挿入

(2) 標準版クラブ付則第10条クラブ紛争処理手順の条文が簡略化され、紛争処理手順については国際理事会方針書第25章に移行した。

(3) 2018年第64回各複合地区年次大会決議一覧を確認した。複合地区会則の改正はMD334及びMD336の2つ。改正された条文コピー配布。

### ◎MD334改正

#### 複合地区会則第12条 複合地区会計

3. 複合地区内のライオンズクラブは必要な費用を負担するため、複合地区大会で決定する複合地区運営費、複合地区大会費、日本ライオンズ賛助会費からなる額の複合地区会費をガバナー協議会に納入する。

(a) 上記会費は6ヶ月分前納を原則とする。

(b) 複合地区会費のうち日本ライオンズ賛助会費、会員1名当たり1ヶ月80円はガバナー協議会が一般社団法人日本ライオンズに納入する。

◎MD336改正

**複合地区会則第6条 地区ガバナー・キャビネット**

3. 地区ガバナーはキャビネットの会議を主宰する。定例会議は年4回とし、その他必要に応じて開くことができる。これらの会議で地区ガバナー、前地区ガバナー、第1副地区ガバナー、第2副地区ガバナー、地区名誉顧問会議長、キャビネット幹事、キャビネット会計、リジョン・チェアパーソン、ゾーン・チェアパーソン、地区委員長および地区LCIF/GMT/GLT/GST/FWT地区コーディネーターに投票権が与えられる。

**複合地区会則第22条 地区ガバナー諮問委員会**

各ゾーンにおいて、ゾーン・チェアパーソン、各クラブ会長、第一副会長、並びに幹事は、地区ガバナー諮問委員会の構成員となり、ゾーン・チェアパーソンはその委員長となる。ゾーン・チェアパーソンが定める日時及び場所において、国際大会閉会后90日以内に第1回会議を開き、第2回会議は11月に、第3回会議は2月又は3月に、第4回会議は複合地区大会の約30日前に開く。クラブ奉仕委員長、クラブ・マーケティング・コミュニケーション委員長、クラブ会員委員長は、各自の役職に関係のある情報が共有される場合には出席する必要がある。この委員会は、諮問に答えるゾーン・チェアパーソンに助力し、ゾーン内のライオンズ及びクラブの福利に関する勧告をまとめた上で、それをゾーン・チェアパーソンを通して地区ガバナー及びキャビネットに伝える。

5. **2018年ラスベガス国際理事会決議事項要約の確認**

ラスベガス国際大会直前の6月24日～28日に行われた国際理事会の決議事項要約を確認した。国際本部ウェブサイトよりダウンロードされた決議事項要約配布。

会員増強委員会

決議5. アフガニスタン・イスラム共和国を、第204カ国目の新ライオンズ国または地理的地域として加えることにより、理事会方針書第10章を改定。

決議6. 新クラブの共同スポンサーとなることができるクラブの数は二つまでと規定を変えることにより、理事会方針書第10章を改定。

決議7. 既存のライオネス会員がライオンズクラブに入会する際は、2021年6月30日まで入会費が免除されること、また、ライオネス変換プログラムのフォームに必要事項を記入することにより、ライオネスでの奉仕年数をライオンズでの奉仕年数として加えられることを承認。※国際協会への入会費35米ドルが免除される。

マーケティング・コミュニケーション委員会

決議1. ニューヴォイス イニシアチブのために新しく設けられた役職を反映させるべく、理事会方針書第19章公認プロトコールを改定。

別紙のとおり、ライオンズ必携第57版掲載の旧プロトコールと、最新の公認プロトコールを並べて確認した。本年度グドラン国際会長の方針により、新たに2つの役職としてニューヴォイス会則地域リーダーとニューヴォイス会則地域スピーカーが設けられた。日本においてはFWTが継続して行われており、リーダーの長澤千鶴子元地区ガバナーは、ニューヴォイス会則地域スピーカーとなる。下記のニューヴォイス特設ウェブサイトを紹介あり。

<https://weserve.org/ja/newvoices/>

ニューヴォイス イニシアチブは、女性初の国際会長を迎えるにあたり、ライオンズクラブ国際協会に対する女性会員の貢献を高く評価するものです。このイニシアチブでは、ライオンズクラブの女性会員数の増加とリーダー就任の男女格差の解消に力を入れることにより、ジェンダー平等の実現を目指します。

## 6. 国際協会本部組織について

2018年8月29日付けOSEAL調整事務局のマーズ佐子局長発信のEメールを確認した。国際協会本部組織が改編され、新体制の紹介あり。

- ・ チーフオブオペレーション(運営チーフ:COO) サンジープ・アフジャ
- ・ 太平洋アジア課課長 ジンヒー・バエ  
(ジンヒー・バエは、シニア韓国語通訳・トランスレーターから昇格)
- ・ 太平洋アジア課課長補佐 洋子ハダック
- ・ 太平洋アジア課会員サービス等 裕子ライス

### 各連絡先:

ライオンズクラブ国際協会国際本部太平洋アジア課 Eメール [pacificasian@lionsclubs.org](mailto:pacificasian@lionsclubs.org)

- ・ 協会発信公式文書の翻訳に関すること

ライオンズクラブ国際協会国際本部 GAT サポートスペシャリスト会則地域5担当

Eメール [globalactionteam@lionsclubs.org](mailto:globalactionteam@lionsclubs.org)

- ・ GAT リーダーへの支援・GAT に関する問い合わせ

ライオンズクラブ国際協会 OSEAL 調整事務局 Eメール [oseal@lionsclubs.org](mailto:oseal@lionsclubs.org)

- ・ リーダー(国際役員および国際協会任命による各役職)へのサポート
- ・ 複合事務局、地区キャビネットを介した会員サポート
- ・ オセアルフォーラム運営に関する支援
- ・ OSEAL 執行委員会および会則地域全体の支援
- ・ クラブ用品発注およびクラブ用品に関する支援

ところで、国際協会ウェブサイト <http://www.lionsclubs.org> 英語版には最新の国際理事会方針書改訂版がアップされているが、日本語版サイトの更新が遅いので、日本語に翻訳した最新の国際理事会方針書を送ってほしい旨、国際本部に要望する。

## 7. ライオンズ必携、ライオンズクラブ役員必携について

2018-2019ライオンズクラブ役員必携(表紙若草色)と2017-2018ライオンズ必携第57版(表紙桃色)各一冊配布。ライオンズ必携はまだ改訂版の製作が決定されていないため、本年度複合地区会則委員長連絡会議では早急に改訂版の製作を進めるべく、見積書を取り寄せ、9月19日の一般社団法人日本ライオンズ執行理事会で審議をお願いする。なお、ライオンズ必携第58版は事務的な変更のみに留め、前掲議案1の内容は将来の必携に反映させるものとする。全委員長が下記の通り削除することに同意した。

第57版P.20上から17行目、第3段落(\*)削除

(\*)「各複合地区は独立した権限と責任を持ち、それぞれの複合地区会則に基づいて運営され、この上にいくつかの複合地区を統括するような組織を作ることはできない。このことを踏まえたうえで、日本のライオンズに共通な事項については、8複合地区各種連絡会議を持ち、融和協調のうちにその進歩向上を図りつつある。」

2018.11.8 第2回会議で文言修正。

## 8. 次回会議

第2回会議 2018年11月8日(木) 13:30-16:00 場所:一般社団法人日本ライオンズ

16:10識名議長会世話人により閉会。

以上

最新の公認プロトコール(国際理事会方針書第19章P.7参照)

改正	現行
<p style="text-align: center;">役員および来賓の席順</p> <p>公認プロトコール</p> <p>下記は、ライオンズクラブ国際協会公認プロトコール方針である。主要スピーカーだけが、講演の初頭に挨拶として、臨席の賓客全員の名を挙げて紹介する必要がある。</p> <p>A.役職の順位</p> <p><b>*役職によっては、特定の会則地域には該当しない場合がある。現地の慣行により、妥当とされるプロトコールを使用する。</b></p> <p>ライオンズの順位は、次の通りとする。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 国際会長</li> <li>2. 前国際会長/LCIF 理事長</li> <li>3. 国際副会長（地位の順）</li> <li>4. 元国際会長 (b)</li> <li>5. 国際理事 （理事会アポインティ）* (a)</li> <li>6. LCIF 理事会</li> <li>7. 元国際理事 (c)</li> <li>8. <b>Past LCIF Trustees and Past Board Appointees</b> <b>(元 LCIF 理事及び元理事会アポインティ)</b></li> <li>9. <b>GLT/GMT/GST/LCIF 会則地域リーダー、<u>ニューヴォイス会則地域委員長**</u></b> (a)</li> <li>10. <b>GLT/GMT/GST/LCIF 会則地域副リーダー</b></li> <li>11. <b>LCIF エリアリーダー、FWC/GLT/GMT/GST エリアリーダー及び特別エリア・アドバイザー/日本担当会則地域副リーダー、<u>ニューヴォイス会則地域スピーカー**</u></b> (a)</li> <li>12. 複合地区協議会議長 (a)</li> <li>13. 地区ガバナー</li> <li>14. 国際運営役員</li> <li>15. 複合地区 FWC/GLT/GMT/GST/LCIF コーディネーター</li> <li>16. 前地区ガバナー (a)</li> <li>17. 副地区ガバナー（地位の順）</li> <li>18. 複合地区の各委員会委員長 (a)</li> <li>19. 元協議会議長 (a)</li> <li>20. 元地区ガバナー (a)</li> </ol> <p>（以下略）</p> <p>国際理事会方針書 2018年6月28日改訂</p>	<p style="text-align: center;">役員および来賓の席順</p> <p>公認プロトコール</p> <p>下記は、ライオンズクラブ国際協会公認プロトコール方針である。主要スピーカーだけが、講演の初頭に挨拶として、臨席の賓客全員の名を挙げて紹介する必要がある。</p> <p>A.役職の順位</p> <p>ライオンズの順位は、次の通りとする。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 国際会長</li> <li>2. 前国際会長/LCIF 理事長</li> <li>3. 国際副会長（地位の順）</li> <li>4. 元国際会長 (b)</li> <li>5. 国際理事 （理事会アポインティ）* (a)</li> <li>6. LCIF 理事会</li> <li>7. 元国際理事 (c)</li> <li>8. GLT/GMT 国際コーディネーター、国際家族及び女性コーディネーター (FWC) (a)</li> <li>9. GLT/GMT 会則地域リーダー (a)</li> <li>10. LCIF エリア及びリジョナルコーディネーター、FWC/GLT/GMT エリアリーダー及び特別エリア・アドバイザー/日本担当会則地域副リーダー(a)</li> <li>11. 複合地区協議会議長 (a)</li> <li>12. 地区ガバナー</li> <li>13. 国際運営役員/会則地域幹部スタッフ</li> <li>14. 前協議会議長</li> <li>15. 元協議会議長 (a)</li> <li>16. 複合地区 FWC/GLT/GMT/LCIF コーディネーター</li> <li>17. 前地区ガバナー (a)</li> <li>18. 副地区ガバナー（地位の順）</li> <li>19. 複合地区の各委員会委員長 (a)</li> <li>20. 元地区ガバナー (a)</li> </ol> <p>（以下略）</p> <p>国際理事会方針書 2016年10月16日改訂</p>